

“吹いているのにくっついて回るコマ3”をつくろう

青森・野呂茂樹

HPに載せている”吹いているのにくっついて回るコマ”を実践してくれた方々からの助言を基に改良しました。

【つくり】

(吹き口：その1)

- ① 2cm 角のクリアシートの中央に直径 6mm の穴を一穴パンチ（100円ショップから購入）であけます。
- ② 6mm φ ストローの先端に4か所以上1cm位の切り込みを入れます。
- ③ 2cm φ のカラーシールの中央に穴をあけます。
*省略できます。
- ④ 穴の開いたシールをストローに差し、ストローの切れ目のある先端を開いて①のシートに押し当て③のシールでしっかり留めます。
*③を使用しないときは、セロファンテープで固定します。
- ⑤ シートの角をハサミで切り落とし、円形または多角形にします。



(吹き口：その2)

- ① ストローを“スポンジ W1/4”に差し込みます。穴が狭いときは丸箸／鉛筆で少し広げます。または、5mm φ ストローを用います。



* “スポンジ” は波板を釘やボルトで固定すると

きに使われるクッション材です（1個当たり 2~5 円でホームセンターから入手できます）。

(コマ)

- ① シートの各辺の中央に4か所 5~10mm の切り込みを入れ、対角線状に斜めに折り上げます。
- ② 5cm 角のクリアシートの中央に押しピンで小穴をあけます。
- ③ 3cm 長の細い針金 (#26~30) を中央の穴に差し、1cm ほど出し、外底で輪にしてテロファンテープ／小さなシールで留めます。2cm 長のビニタイを型に曲げ表面に固定してもいいです。



* コマは、円板／多

角形にし羽根を多くするとよりよく回ります。



【あそび方】

- ① 吹き口をコマの軸に被せコマの面に密着させ、他端の口を強く吹くと、コマは高速回転します。
- ② その状態でストローを持ち上げると、コマは回りながらくっついてきます。

狭い通路を通る空気の圧力が減少し、外気の圧力がコマを支えているのでしょう。



【参考文献／HP】

- ・「科学マジック2」（ケニス・M・スエジー著 金沢養訳 白揚社）
- ・「141 吹いてもくっついて回るコマ」
<http://sky.geocities.jp/noroshigeki3>
- ・「181 吹いてもくっついて回るコマ2」
<http://sky.geocities.jp/noroshigeki32>